

「全国餃子祭り」松本・伊那・箕輪が参加



「第5回全国餃子祭り」をPRする実行委員会のメンバーら

全国のご当地ギョーザを集めた「第5回全国餃子祭り」が10月4、5両日に北九州市八幡東区で開催される。地元実行委員会は5日、開催概要を発表し、参加地域は長野、静岡など17都府県、25地域で、過去最多になる見通しを明らかにした。2日間で10万人の来場を見込んでいる。会場は、JR鹿児島線スペースワールド駅近くの芝生広場。ギョーザの消費量1、2位を争う宇都宮市と浜松市など計30ブースが出店する。両日とも午前10時～午後3時まで。

過去最多の25地域 北九州で来月4・5日開催

250～500円で販売される。

長野県からは松本市、伊那市、上伊那郡箕輪町の団体などが参加予定。伊那市の飲食店などをつくる「伊那餃子会」は、地元産の雑穀アマランサスを使って信州みそベースのたれで食べる水ギョーザを販売する。

また、ギョーザ専門店「ぎょうざのみせさくら」(松本市)はギョウジャンニンニクを使った焼きギョーザ、飲食店を展開する「らーめんじゃげな」(箕輪町)は塩だれネギ、信州みそだれなど数種類の味の焼きギョーザを販売する予定だ。

開催地の北九州市からも「八幡ぎょうざ」が参加。高度経済成長期に製鉄の街で働く労働者の胃袋を支えたことで知られ、小型の鉄鍋に並べて焼くスタイルの発祥とされる。実行委員会は「『八幡ぎょうざ』を観光振興につなごうとご当地グルメに育て上げたい」と意気込んでいる。

問い合わせは実行委員会(☎07-05412・1901)。